

公用車への「米子がい〜な！暮らしやすさ日本一!!」 ステッカーの貼付けによる情報発信について

本市は、平成27年3月に経済産業省が作成し、公表された生活コスト「見える化」システムで、総合的に「暮らしやすさ日本一」の評価をいただきました。

また、平成27年10月に策定した「米子がいな創生総合戦略」では、キャッチフレーズとして「米子がい〜な！」を掲げました。

その後、この「暮らしやすさ日本一」と「米子がい〜な！」とを組み合わせ、「米子がい〜な！暮らしやすさ日本一!!」のロゴマークを作成し、職員の名札デザインでの使用や各種イベントで活用するとともに、民間での活用も呼びかけを行うなど、情報発信に努めてきました。

この度、より一層の情報発信を図るため、次のとおりロゴマークのステッカーを作成し、公用車に貼り付けることとしましたので、お知らせします。

記

1 目的

公用車に「米子がい〜な！暮らしやすさ日本一!!」のロゴマークのステッカーを貼り付け、日々市内を走行することにより、市民の皆さんに米子の暮らしやすさを再認識する機会を持っていただき、もって、郷土愛の醸成や定住の促進につなげようとするもの。

2 ステッカーの仕様

下図のとおり（マグネット式、縦9cm×横31cm）



3 貼付け対象の公用車

本日10月5日から、約100台の公用車（市長車、議長車を含む）に順次貼付け

【参考】ロゴマークの民間での活用事例

- ・日本政策金融公庫米子支店・・・職員の名刺デザインに採用、講演会資料への掲載、公用車へのステッカー貼付け
- ・米子商工会議所・・・公用車への掲載、会報での紹介、名刺・封筒のデザインに採用
- ・米子自動車学校・・・教習車へのステッカー貼付け
- ・NPO 法人地域活動支援センターおおぞら・・・ポロシャツデザインに採用し販売
- ・医療法人社団 安部内科医院・・・職員用ポロシャツのデザインに採用、名刺・お知らせのデザインに活用

など

【事務担当】

企画部ふるさと創生推進局地方創生推進課 倉本（0859）23-5357

米子市は「暮らしやすさ日本一」と評価されました



生活コスト「見える化」システム

平成27年3月、経済産業省は地方への移住・回帰の動きを後押しするため、生活コスト「見える化」システムを作成し、公表されました。

このシステムでは、居住地を選ぶ際の好み(志向)・年代・家族構成の条件を設定すると、利便性、教育・子育て、福祉・医療などの暮らしやすさに関する指標の貨幣価値が表示され、市区町村別にランキング化されます。

全国ランキング

志向・年代・家族構成の条件設定には全体で46の組み合わせがありますが、この半数の23の条件設定で米子市が全国第1位（1,741市区町村中）となりました。

とりわけ利便性を志向する条件では、約7割で全国第1位という結果となりました。

米子市の「暮らしやすさ」指標の全国順位

居住地を選ぶ際の好み(志向)	年代	家族構成				
		単身	夫婦のみ	夫婦と子供(乳幼児)	夫婦と子供(小中高生)	夫婦と子供(大学生以上)
利便性志向	20歳代	1位	1位	56位	-	-
	30歳代	3位	1位	1位	1位	-
	40歳代	1位	1位	1位	1位	3位
	50歳代	2位	1位	17位	2位	1位
	60歳代	1位	1位	-	-	2位
郊外・農村志向	70歳代	1位	1位	-	-	1位
	20歳代	180位	52位	15位	-	-
	30歳代	6位	1位	1位	2位	-
	40歳代	4位	1位	17位	3位	44位
	50歳代	3位	1位	17位	4位	6位
郊外・農村志向	60歳代	1位	1位	-	-	23位
	70歳代	1位	8位	-	-	12位

資料：経済産業省 生活コストの「見える化システム」をもとに作成